

〈熊本支部例会事前抄録〉

日時：2022年8月23日（火）19：30～

会場：添島歯科クリニック研修室

— 一般講演抄録2 —

Dental Implant Placement with Simultaneous Anterior Maxillary Reconstruction with Carbonated Apatite

八田 知之 はった歯科小児歯科クリニック 熊本県熊本市西区上熊本2丁目18-1

■抄録

インプラント治療に際し、垂直的・水平的に骨量の不足がある場合、理想的な位置に埋入することが困難な場合がある。審美領域の修復に際し、骨欠損部位に炭酸アパタイトとメンブレンを用い骨造成を行い、インプラントを埋入し修復した症例を発表する。

患者は43歳女性。前歯部の動揺を主訴に2020年2月に当院受診。歯根破折の診断のもと抜歯処置を施行したが、インプラント埋入予定部位に骨量の不足を認めた。2020年5月に埋入予定部位に対し、Ti強化型メンブレンを併用し、炭酸アパタイトを用いGBRを施行した。その後インプラントを埋入し、オッセオインテグレーション獲得後、Provisional Restoration 施行後に最終印象を行い上部構造をスクリー固定した。

診断用ワックスアップの製作を行った事により、患者及び術者に共通のゴールが明確になったと感じた。骨欠損に対し、Ti強化型メンブレン及び炭酸アパタイトを用いてGBRを施行した。水平的・垂直的にも十分な骨量が確保されたと考える。しかし、インプラント埋入前にGBR等の処置が必要であったため、長期の治療期間が必要となった。

本演題に関し利益相反状態はありません。